

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	14	25	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	0	2	ヘルパンギーナ	160	116
咽頭結膜熱	19	17	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	61	96
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	62	94	急性出血性結膜炎	1	0
感染性胃腸炎	301	297	流行性角結膜炎 (はやり目)	13	10
水痘	89	116	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	631	338	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	30	15	マイコプラズマ肺炎	4	1
突発性発しん	46	57	クラミジア肺炎	0	1

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

- 手足口病は、報告数 631件(前週報告数 338件)と増加。地区別では、菊池、人吉、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 257件を最多に、主に8歳以下からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 301件(前週報告数 297件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の 45件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 160件(前週報告数 116件)と増加。地区別では、水俣、八代、宇城に報告が多くみられる。年齢別では、1歳の 62件を最多に、8歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所			11	22	70	22	287	13	16		63	29	1	13		1	1	
山鹿保健所					51	4	15	1	3			5	*	*				
菊池保健所	1		3	16	58	6	82	6	5		18	4						
阿蘇保健所				1	6		1						*	*				
御船保健所					4	1	2						*	*				
八代保健所				6	18	3	40		5		22	3						
水俣保健所			2	1	2	1	27		1		15	3	*	*				
人吉保健所				4	18	16	61		3		2	1	*	*				
有明保健所			2	1	27	14	58	1	8		4	7						3
宇城保健所				4	28	15	40	4	3		16	2						
天草保健所	13		1	7	19	7	18	5	2		20	7						
計	14	0	19	62	301	89	631	30	46	0	160	61	1	13	0	1	4	0

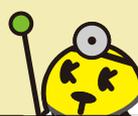
◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	14						2		2	2				3		1	2	1			1
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	0																				
咽頭結膜熱	19		1	6	2	4	1	3			1		1								
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	62			1	2	6	15	9	10	5	2	5	5		2						
感染性胃腸炎	301	5	15	44	30	32	28	16	17	17	13	10	45	7	22						
水痘	89	1	6	31	13	10	12	5	6	2	2	1									
手足口病	631	5	69	257	157	79	37	11	9	2	2		2		1						
伝染性紅斑	30	1	1		2	3	5	7	1	5	3	1	1								
突発性発しん	46	5	24	16				1													
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	160	4	20	62	29	16	18	7	2		2										
流行性耳下腺炎	61		1	6	7	12	9	8	11	4	1		1		1						
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1																		1		
流行性角結膜炎	13											1				4	1	1			2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1		1																		
マイコプラズマ肺炎	4			2	1	1															
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 感染性胃腸炎：山鹿
- 水痘：人吉
- 手足口病：熊本、山鹿、菊池、八代、水俣、人吉、有明、宇城
- ヘルパンギーナ：水俣、天草
- 流行性耳下腺炎：山鹿

◆手足口病



手足口病は毎年夏に多い疾患ですが、今年は例年のないペースで報告数が増加しています。患者報告数は、先週警報レベルを超えましたが、今週は更に増加しています。阿蘇、御船、天草を除く8地域で警報レベルを超えています。特に菊池、人吉で流行しています。年齢別にみると、1~3歳からの報告が全体の8割を占めています。保育所など乳幼児の集団生活の場では特に注意が必要です。手足口病は、手のひら、足のうら、口の中などに小さな水疱のような発疹ができるのが特徴です。大部分は発疹と軽度の発熱などの軽い症状で経過しますが、まれに髄膜炎など重症化する場合があります。頭痛・嘔吐を伴う、高熱を伴う発熱が2日以上続く、などの場合は早めに医療機関を受診してください。手足口病は、患者のくしゃみなどからのしぶき、水疱の中身、患者の便にウイルスが存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石けんで十分に行い、タオルの共用はしないようにしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課